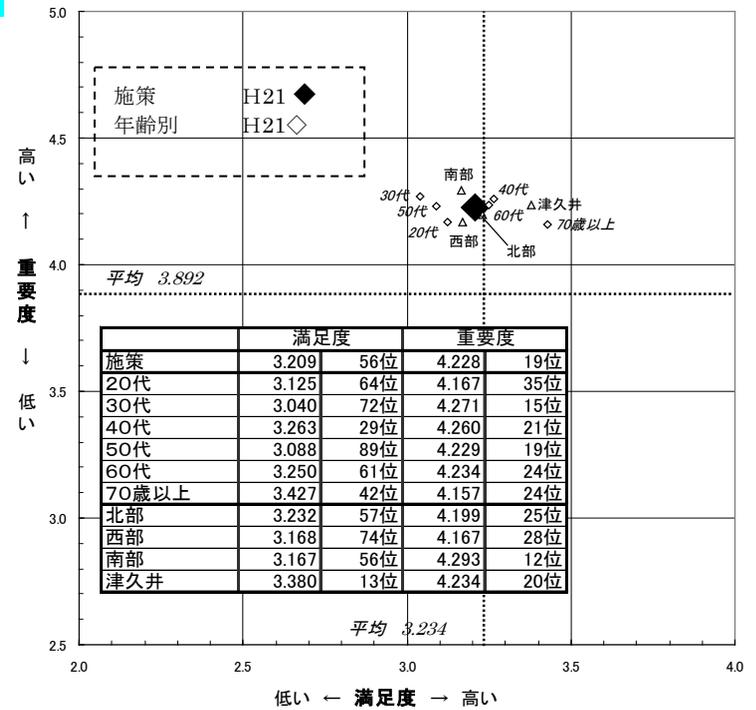


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.209で全119施策の中で56番目。
- 重要度は4.228で19番目である。
- 改善要望度は0.255で22番目である。

バリアフリーによる福祉のまちづくり



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	④ 2 1	/	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 ② 1	④ 2 1	実績が向上している2つの指標から読み取ると、市民の福祉に対する理解と関心が深まった結果、バリアフリーに対する期待値が高まってきていると思われ、市民の理解と関心を深めるという目標は達成していると思われる。
合計		10	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)	
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	障害者や日常生活・社会生活に身体機能上の制限を受ける方へのあたたかい思いやりをはじめ、福祉のまちづくりへの市民理解をさらに深めるための方策に苦慮している。
解決策	福祉のまちづくりへの市民理解を深めるために、各地区で行われる災害時要援護者支援訓練への参加促進や、広報紙「みんないいひと」を発行する市社会福祉協議会等諸団体との連携の充実を図る。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

		2次評価 A
--	--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

有効性が高い水準でありながら、重要度が高く満足度が低い施策である。新総合計画ではこれを踏まえた事業実施及び目標設定を行われたい。		3次評価 A
--	--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向